

1 教科について

国語

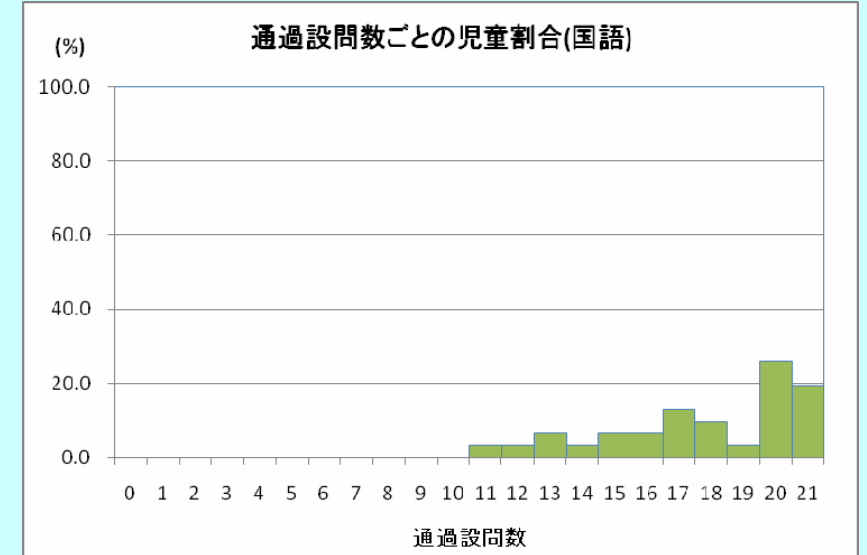
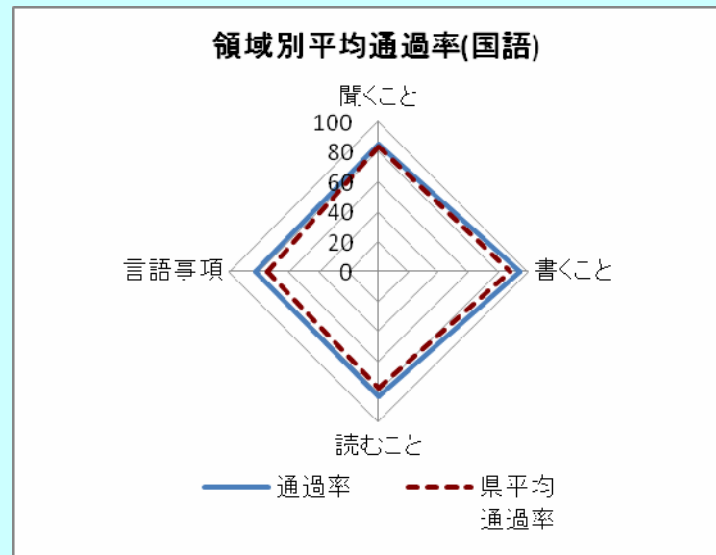
昨年度の課題

- ① 聞くことが 66.8%と課題がある。的確に要点を聞きとるに課題が見られる。(43.8%)
- ② 「言語事項」の通過率が他の領域と比べて低い。(82.4%) 特に、ローマ字を読む・書くの通過率が低い。(68.7%)
- ③ 文章における主語を見つけることの通過率が低い。(66.7%)

昨年度の課題を受けて  
具体的に取組んだ事項

- ① 「聞く」ことにおいては、「発表の話型」の掲示をもとに、自分の考えと比べて聞く指導を行った。また、聞いたことをもとにして、自分の意見を述べたり、書いたりする活動を仕組んだ。
- ② 漢字・ローマ字・言語技術に関する練習問題をドリル学習などで計画的・系統的に取り組みさせた。
- ③ 普段の授業で主語や述語を意識して学習する機会を増やした。また、主語、述語を意識して自分の思いや理由を書くなど、各教科等で書く機会を増やしてきた。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **84.8 %** 県平均 **78.5 %**



重点課題 ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査

- ◎ 場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読むことの通過率が低い。(54.8%)
- ◎ 国語辞典の引き方の通過率が低い。(67.7%)
- ◎ ローマ字で読んだり書いたりする問題の通過率が低い。(読む…71.0%、書く…77.4%)

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 授業の中で、言葉や文意へのこだわりを持たせるような読み取りを行い、評価読みを通して、読む力や論理的思考力を養う。
- ② 学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用を図り、児童の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を充実する。
- ③ 授業の中で、難語句調べや指定した語句を使った短文づくりなどを設定し、国語辞典の効果的な活用を図る。
- ④ ローマ字を書いたり、読んだりすることを習得させるために、ドリル学習や家庭学習で計画的・系統的に繰り返し練習をさせる。

来年度の目標値

- 「基礎・基本」定着状況調査において、通過率を現状維持する。
- 「言語事項」について、通過率を85%にする。

# 指導方法等の改善計画について

## 算数

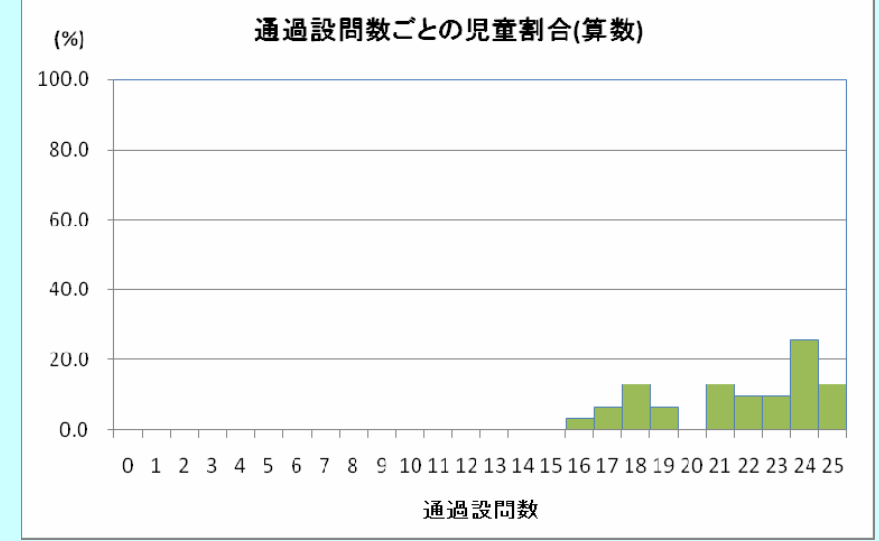
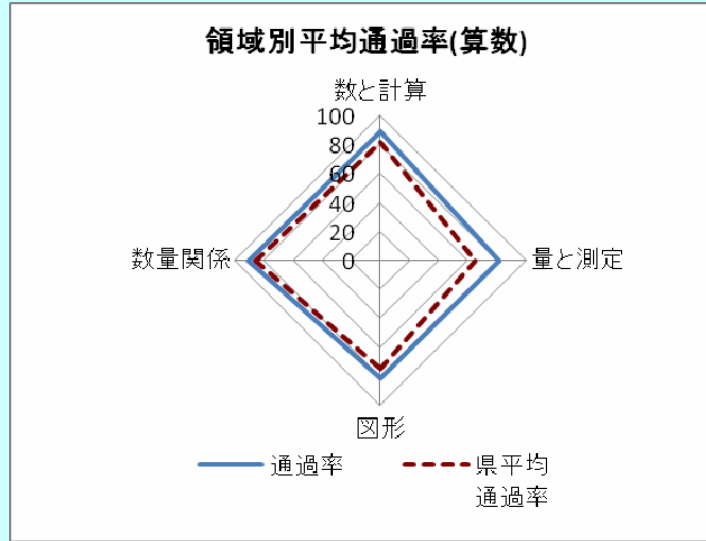
### 昨年度の課題

- ① かさの単位(62.5%)
- ② 重さの比較(68.8%)
- ③ 複合図形の面積(62.5%)
- ④ 基本的な平面図形(35.4%)
- ⑤ 直角三角形の作図(68.8%)
- ⑥ 数量関係に伴って変わる数量(50%)  
通過率が低い問題は、図形と考え方の観点に多い。

### 昨年度の課題を受けて 具体的に取組んだ事項

- ① 重さ、体積、面積の量感を身に付けるために、授業の中で、算数的活動を大切に、具体的に量ったり、計算したりする活動を仕組んだ。
- ② 数量関係においては、イメージを持たせるために絵や図などを活用して考えさせる活動を仕組んだ。
- ③ 図形の問題は公式を覚えるだけでなく、自分で具体物を活用して公式を導き出す過程を大切に指導した。
- ④ 児童の理解を助ける学習材を開発し、算数的活動を仕組み、自力解決・集団思考をさせることを通して、数学的思考力を高める指導をした。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **86.6%** 県平均 **77.8%**



### 重点課題 ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査

- ◎ 量と測定が 81.7%と他の領域に比べて低い。特に、複合図形の面積を求める問題の通過率が低い。(64.5%) また、約 1 kgの重さを選ぶ問題の通過率が低い。(71.0%)
- ◎ 四角形の定義、性質から長方形を判断する問題の通過率が低い。(61.3%)
- ◎ 単位分数のいくつ分で表す問題の通過率が低い。(58.1%)
- ◎ 観点別では、通過率が低い問題は、考え方の観点に多い。

### 重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 授業の導入では、児童が主体的に問題解決に取り組むように、興味の湧く問題場面の設定と出会わせ方を。また、具体物を使った算数的活動や体験的な算数的活動を工夫し、知識・理解を確実に定着させ、量感を高める。
- ② 自力解決のための手立てを工夫することで、自分の考えをしっかりとらせ、表現させることで、集団思考での考え方の相違やよさを実感させる。
- ③ 「ペアトーク」や「発表の話型」を活用し、筋道を立てて説明したり、解法を論理的に考えたりすることで、予測や推論を生み出すための指導を行う。
- ④ 発達や学年の段階に応じた反復(スパイラル)による教育課程により、理解の広がりや深まりなど学習の進歩が感じられるようにする。

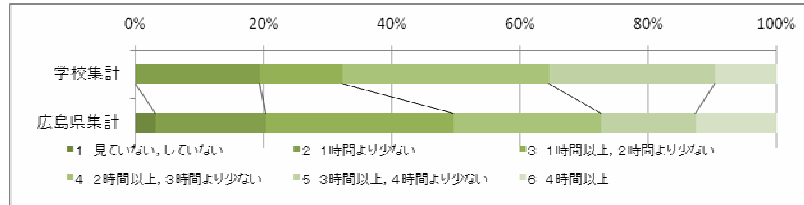
### 来年度の目標値

- 「基礎・基本」定着状況調査において、通過率を現状維持する。
- 量と測定領域の平均通過率を 83%にする。

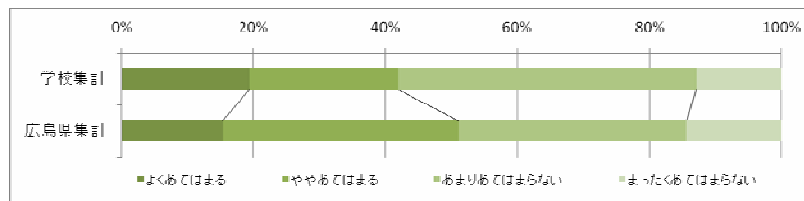
## 2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査、児童質問紙調査）

### (1) 生活・学習

ふだん（月曜日～金曜日）、1日何時間くらいテレビを見たりゲームをしたりしていますか。



学校の授業の予習をするようにしています。



#### 改善したい点

- ◎「普段、テレビの視聴やゲームを一日に3時間以上観ている」児童が35.5%いるので、家庭での生活の仕方や時間の使い方を考えさせていく必要がある。
- ◎予習をしている児童が少ない。(41.9%) 家庭学習の仕方考えさせる必要がある。
- ◎「ものごとを解決したり決めたりするとき、なぜそうなるのか理由を考えています。」と「自分の考えと他の人の考えを比較しながら聞いています。」の思考力にかかわる質問の回答が低い。(58.1%、61.3%)

#### 今後の具体的な取組の内容

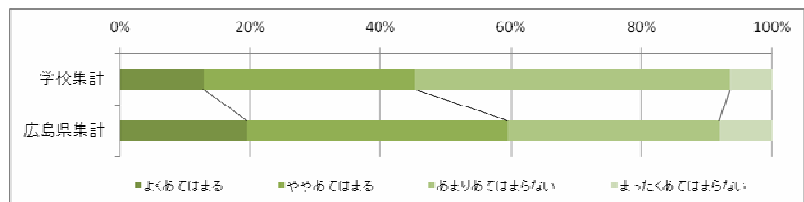
- 「生活習慣チャレンジカード」を活用し、家庭での時間の使い方について、目標を設定とふり返りの場を設け、計画的に生活できるようにする。また、家庭と連携をとりながら取り組みをすすめていく。
- 家庭学習において日々復習・予習を行うようにさせるために、家庭での学習の仕方を身につけさせる。また、自主学習の内容の工夫に取り組ませる。
- 授業において、ノート指導を柱として、思考を論理的に表現させる指導を進め、「発表の話型」や「ペアトークの話型」の掲示を活用し、考えを比べて聞いたり、話したりする指導を進める。

#### 来年度の目標値

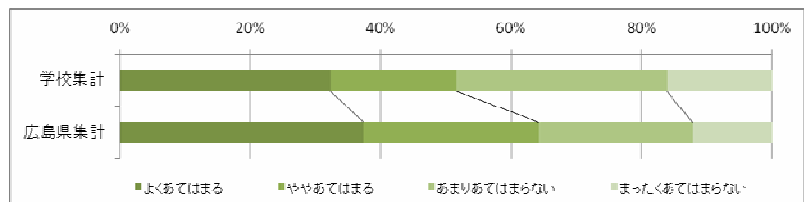
- ・テレビやゲームの時間を3時間以内の児童を80%にする。

### (2) 教科

国語の授業では、話をするとき、最も伝えたい中心をどこで言うか考えながら話しています。



算数の授業では、計算などのくり返し学習をするのが好きです。



#### 児童の回答と学校の指導についての課題

- 国語**
- ◎メモを取りながら聞いたり、最も伝えたい中心をどこで言うか考えながら話をしたりできていない。
  - ◎分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べることができていない。
  - ◎言葉に線を引いたり、書きこんだりしながら物語などの文章を読めていない。
- 算数**
- ◎計算などのくり返し学習をするのが苦手な児童が多い。
  - ◎考え方やとき方を絵や図、表などに表したり、まとめたりすることが苦手である。
  - ◎分数の文章問題を考える時に、1にあたる大きさがどれだけか気をつけていない。

#### 授業改善の方向性や具体的な取組

- 国語**
- 大切なことをメモをとりながら聞く習慣を身につける。また、授業の中で、「かかわり発言」や「発表の話型」の掲示を活用することで、結論先行型などの発表の仕方を意識させる。
  - 授業の中で、難語句調べや指定した語句を使った短文づくりなどを設定し、国語辞典の効果的な活用を図る。
  - 授業の中で、言葉や文意へのこだわりを持たせるような読み取りを行い、書き込みなどをしながら読む力を養う。
- 算数**
- ドリル学習などで、達成可能な目標を設定する中で、取り組んだことに対する達成感を持たせる。
  - 算数的活動や思考を表現するノート指導を通して、自分の考えを図や表・言葉を使って分かりやすく表現する活動を取り入れた授業をつくる。
  - 分数の指導において、1にあたる大きさを視覚的にとらえられるように、教材研究や教材の工夫を行う。

#### 来年度の目標値

- ・国語科では、最も伝えたい中心をどこで言うか考えながら話す児童を60%にする。
- ・算数科では、考え方やとき方を絵や図などに表したり、まとめたりする児童を70%にする。

指導改善のための実施スケジュール

	～9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
	Plan		Do		Check	検証	Action	Check	
	結果の分析・H23の改善計画の見直し		H24の改善計画の実施		次年度の計画				
【教科】									
国語	学級経営の見直し、改善案を作成し、2学期の計画を立てる。 ステップアップドリルの充実 音読・群読、読書活動を計画的に進める。 学習規律の定着	他校の公開研究会への参加 漢字・ローマ字・言語技術の練習問題を計画的にする。	思考力・表現力をつけるための研修 音読・群読、読書活動を計画的に進める。	学級経営の反省と3学期の計画	学級経営の反省と3学期の計画	学級経営の反省と3学期の計画	学級経営の反省と3学期の計画	取組みの検証と改善案	計画の見直しと実施
	思考力・表現力の向上 話す・聞く力の向上	自分の思いを書いたり、理由を表現したりするなど、ことばの教育で培った力を学習に生かす。 聞くこと、話すことを重点にした取り組み	検証と改善策	検証と改善策	検証と改善策	検証と改善策	検証と改善策	検証と改善案の作成	計画の見直しと実施
	単元ごとの評価・改善	評価と改善（単元テスト及び基礎的基本的な問題）	評価と改善（単元テスト及び基礎的基本的な問題）	評価と改善（単元テスト及び基礎的基本的な問題）	評価と改善（単元テスト及び基礎的基本的な問題）	評価と改善（単元テスト及び基礎的基本的な問題）	評価と改善（単元テスト及び基礎的基本的な問題）	検証と改善案の作成	計画の見直しと実施
	ステップアップドリルの充実	計算・文章題・図形関係の練習問題を計画的にする。	計算・文章題・図形関係の練習問題を計画的にする。	計算・文章題・図形関係の練習問題を計画的にする。	計算・文章題・図形関係の練習問題を計画的にする。	計算・文章題・図形関係の練習問題を計画的にする。	計算・文章題・図形関係の練習問題を計画的にする。	検証と改善案の作成	計画の見直しと実施
	かかわり活動・説明力の向上・授業改善。	授業交流 授業の見直し、ペアトークの活用の仕方	授業交流 授業の見直し、ペアトークの活用の仕方	授業交流 授業の見直し、ペアトークの活用の仕方	授業交流 授業の見直し、ペアトークの活用の仕方	授業交流 授業の見直し、ペアトークの活用の仕方	授業交流 授業の見直し、ペアトークの活用の仕方	校内研修 成果と課題	計画の実施
	アンケートによる授業の検証	アンケートによる授業の検証	アンケートによる授業の検証	アンケートによる授業の検証	アンケートによる授業の検証	アンケートによる授業の検証	アンケートによる授業の検証	成果と課題	計画の実施
	単元ごとの評価・改善	評価と改善（単元テスト及び基礎的基本的な問題）	評価と改善（単元テスト及び基礎的基本的な問題）	評価と改善（単元テスト及び基礎的基本的な問題）	評価と改善（単元テスト及び基礎的基本的な問題）	評価と改善（単元テスト及び基礎的基本的な問題）	評価と改善（単元テスト及び基礎的基本的な問題）	年間指導計画作成	計画の実施
	単元ごとの評価・改善	評価と改善（単元テスト及び基礎的基本的な問題）	評価と改善（単元テスト及び基礎的基本的な問題）	評価と改善（単元テスト及び基礎的基本的な問題）	評価と改善（単元テスト及び基礎的基本的な問題）	評価と改善（単元テスト及び基礎的基本的な問題）	評価と改善（単元テスト及び基礎的基本的な問題）	成果と課題	計画の実施
【生活・学習】									
家庭での過ごし方 家庭学習の充実	テレビの視聴やゲームの時間を短縮する。 家庭学習開始時刻を決めて守る。自主学習の内容の工夫。	できているかどうか点検する。 保護者アンケート	学級懇談会で、調査結果について話し合い、改善するように呼びかける。	できているかどうか点検する。 保護者アンケート	達成状況を把握する。	達成状況を把握する。	達成状況を把握する。	反省をもとに継続して取り組むようにする。	計画の見直しと実施
思考力	日常的にことばに気を付けて話をさせる。	学校評価アンケート	個人懇談会で取り組みの成果を聞く。	個人懇談会で取り組みの成果を聞く。	学校評価アンケート	学校評価アンケート	学校評価アンケート	成果と課題を受けた学校評価案の作成	計画の実施

